

## 看護学科

科目名: 医療学入門			担当教員 氏名: 金森 昌彦、山城 清二、奥寺 敬、若杉 雅浩		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			医師の経験に基づき、医療の実践とその課題について考える授業を行う。		
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
医療に携わるものとしての自覚と意欲・倫理観を育成し強化することをねらいとして医学と医療の歴史、現状、課題と展望について学ぶ。 また、救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を学び、そこにおける医療人としての看護職の役割について考える。 さらに救急蘇生法、AEDの使用方法についての実技を体験することによって医療に携わる者としての自覚と意欲・倫理観の育成・強化を図る。				医療者 倫理観 救急医療 災害医療 僻地医療 総合医療 チーム医療 AED	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6	
A 知識・理解力	医学と医療の歴史、現状、課題と展望について理解する。				
F チームワーク・リーダーシップ	救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を理解し、医療人としての看護職の役割について考える				
E 自己管理能力	地域医療について理解し、看護領域における学ぶ意欲を高める。				
B 専門的技術	救急蘇生法、AEDの使用方法について理解する。				
G 倫理観	医療に携わる者としての自覚と意欲・倫理観を育成・強化する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 50 %	発表: %	実技試験: %	その他: %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 講義の後に感想など、レポートを提出してもらう。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 【金森】レポートは評価した後に返却する。 【若杉】口頭にて伝える。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【金森】医学・看護学の歩み、高齢化社会における健康と課題について学ぶ。 脊椎骨髄損傷をテーマに看護師として何が出来るか?何をすべきかを学ぶ。			テキスト①の 医学看護学概論 <第1章、第2章>およびp47を 読んでおく	【予習】30分 【復習・レポート作成】90分	
②【金森】医療倫理の考え方、医療安全の考え方について学ぶ。 社会支援看護学をテーマに看護師として何が出来るか?何をすべきかを学ぶ。			テキスト①の 医学看護学概論 <第3章、第4章>およびp66- 69を読んでおく	【予習】30分 【復習】30分	
③【山城】地域医療とは 総合診療とは			総合診療、地域医療と言う言葉 とその課題について事前に新聞 やインターネットで調べておく	90分	
④【山城】現在の地域医療の課題と地域での看護師の役割				90分	
⑤【奥寺】救急医療・災害医療の現状と課題			記憶に残っている災害につ いて調べておく	【予習】135分 【復習】100分	
⑥【若杉】救急医療と災害医療に求められる技術(講義)				90分	
⑦【若杉】救急医療と災害医療に求められる技術(実技)			呼吸器・循環器の解剖生理 について十分に復習しておく	90分	
⑧【奥寺】救急医療と災害医療に求められる技術(まとめ)				【予習】100分 【復習】100分	
使用テキスト: ①【金森】看護学生のための人間科学—疾病の成り立ちと医療の方向性/第2版(ふくろう出版)ISBN978-4-86186-703-3 ②【奥寺】改訂5版 救急蘇生法の指針2015 医療従事者用(へるす出版)ISBN 978-4-89269-895-8 ③【奥寺】災害看護 寄り添う、つながる、備える(学研メディカル秀潤社)ISBN978-4-7809-1279-1			その他参考文献など: ・知れば変わる自分のカラダ 健康レベルを上げる「身体学」入門(福村出版) ・JRC蘇生ガイドライン2015(医学書院) ・ICLSコースガイドブック(羊土社)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):【金森】①の授業の後にはレポート課題(2)をまとめ、②の授業の時に提出すること(この課題は評価に含まれる)					